

達第百六十四號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

大正十年九月一日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

戦艦ノ欄内「敷島、朝日、三笠、肥前」ヲ、巡洋艦一等ノ欄内「後開、常磐、八雲、吾妻、
 磐手、出雲、春日、日進」ヲ、同二等ノ欄内「千歲、須磨、明石、新高、對馬」ヲ削リ、
 海防艦一等ノ欄内「周防」ノ次ニ「敷島、朝日、三笠、肥前、後開、常磐、八雲、吾妻、
 磐手、出雲、春日、日進」ヲ、同二等ノ欄内「武藏」ノ次ニ「千歲、須磨、明石、新高、對
 馬」ヲ加フ

(註例則卷二、四〇四頁参照)

百九十八

海軍

0296

達第百六十五號

大正十年達第九十五號別冊海軍氣象通報規程中左ノ通改正シ大正十年十月一日ヨリ之ヲ

實施ス

大正十年九月六日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

目次中「第八表示度」ヲ「第八表ノ一低氣壓示度」ニ改メ第九表ノ前ニ左ノ一項ヲ加フ

第八表ノ二 高氣壓示度

本文規程第五號例中

示 度 第八表

低氣壓示度 第八表ノ一

ニ改

同第六號例中

低氣壓示度 第八表

低氣壓示度 第八表ノ一

ニ、

高氣壓示度

第八表

エ

N J

七百六十二號

ヲ

高氣壓示度

第八表ノ二

百九十九

海 軍

ツ U Z

七百六十八號

ニ改ム

同第八號ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ豫報、警報、通報ヲ同時ニ通報セントスルトキハ區別符ハ通報文ノ初メニノミ冠
シ各報間ニハ新章符號ヲ置キ當該區別符ヲ省略スルコトヲ得

附表第四表中警文ノ下「電信又ハ發光信號符ハ一字トス」ヲ「電信符號ハ一字トス」ニ改ム

同「第八表」ヲ「第八表ノ一」ニ、同表中「○示度」ヲ「○低氣壓示度」ニ改ム

同第八表ノ一ノ次ニ左ノ一表ヲ加フ

第八表ノ二

○高氣歴示度(電信符號ハ一字トス
 旗號電數ハ二数字以下ヲ信號シ當ニ口旗、V旗又ハW旗ヲ添ス)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|---|
| ウ | ム | ラ | ナ | ネ | ツ | ソ | レ | タ | ヨ | カ | ワ | ヲ | ル | ス | リ | チ | ト | ヘ | ホ | ニ | ハ | ロ | イ | 電信符號 | 信 |
| V | V | V | V | V | U | U | U | U | U | U | U | U | U | U | U | U | U | U | U | U | U | U | U | 旗 | 號 |
| 七七三 | 七七一 | 七七一 | 七七一 | 七六九 | 七六八 | 七六七 | 七六六 | 七六五 | 七六四 | 七六三 | 七六一 | 七六一 | 七六〇 | 七五九 | 七五八 | 七五七 | 七五六 | 七五五 | 七五四 | 七五三 | 七五二 | 七五一 | 七五〇以下 | 信 | 文 |
| ン | ス | セ | モ | ヒ | エ | シ | ミ | メ | ユ | キ | サ | ア | ラ | エ | コ | フ | ケ | マ | ヤ | ク | オ | ノ | キ | 電信符號 | 信 |
| W | W | W | W | W | W | W | W | W | W | V | V | V | V | V | V | V | V | V | V | V | V | V | V | 旗 | 號 |
| 不明 | 八〇〇以上 | 七九八 | 七九六 | 七九四 | 七九二 | 七九一 | 七九〇 | 七八九 | 七八八 | 七八七 | 七八六 | 七八五 | 七八四 | 七八三 | 七八二 | 七八一 | 七八〇 | 七七九 | 七七八 | 七七七 | 七七六 | 七七五 | 七七四 | 信 | 文 |

(略例) 凡三頁(圖)

達第百六十六號

海軍砲術學校規則中左ノ通改正ス

大正十年九月十二日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎



0299

第七條第二項中「履歴表」ヲ「考課調査表」ニ改ム

第十七條中「進級停年ヲ超過シタル」ヲ「任用實役停年ヲ有スル」ニ改ム

第十八條第四項中「不合格ノ者アルトキハ選拔表ノ順序ニ從ヒ」ヲ「不合格ノ者アルトキハ之ヲ在籍鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ」ニ改ム

第二十條 練習生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ校長之ヲ免シ理由ヲ附シ各其ノ在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團セシメ且之ヲ各其ノ前所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ノ長及在籍鎮守府ノ人事部長ニ通知シ海軍教育本部長ニ報告スヘシ

- 一、傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者
- 二、修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者



二百

海軍

三、勤務怠慢、品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者

四、前諸號以外ノ事由ニ依リ練習生タルニ不適當ト認ムル者

第二十一條 削除

第二十二條中「及第二十一條」ヲ削ル

第二十五條第一項中「本則第二十一條第二十四條」ヲ「前條」ニ改メ同條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ艦艇ノ本籍ニ異動アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條中「第二十一條」ヲ削ル

(海軍條例則卷一、五二〇ノ三頁参照)

達第百六十七號

海軍水雷學校規則中左ノ通改正ス

大正十年九月十二日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

第七條第二項中「履歴表」ヲ「考課調査表」ニ改ム

第十七條中「進級停年ヲ超過シタル」ヲ「任用賞役停年ヲ有スル」ニ改ム

第二十條第四項中「不合格ノ者アルトキハ選拔表ノ順序ニ從ヒ」ヲ「不合格ノ者アルトキハ之ヲ在籍鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ」ニ改ム

第二十二條 練習生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ校長之ヲ免シ理由ヲ附シ各其ノ在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團シシメ且之ヲ各其ノ前所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ノ長及在籍鎮守府ノ人事部長ニ通知シ海軍教育本部長ニ報告スヘシ

一、傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者
二、修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者

三、勤務怠慢、品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者

四、前諸號以外ノ事由ニ依リ練習生タルニ不適當ト認ムル者

第二十三條 削除

第二十四條中「及第二十三條」ヲ削ル

第二十八條第一項中「本則第二十三條第二十七條」ヲ「前條」ニ改メ同條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ艦艇ノ本籍ニ異動アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條中「第二十三條」ヲ削ル

(海軍諸例則卷一、五三二頁參照)

達第百六十八號

海軍潜水學校規則中左ノ通改正ス

大正十年九月十二日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

第八條第二項中「履歴表」ヲ「考課調査表」ニ改ム

第十五條 練習生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ校長之ヲ免シ理由ヲ附シ各其ノ在

籍鎮守府ノ海兵團ニ入團セシメ且之ヲ各其ノ前所屬ノ艦艇部隊其ノ他各部ノ長及在籍

鎮守府ノ人事部長ニ通知シ海軍教育本部長ニ報告スヘシ

一、傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者

二、修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者

三、勤務怠慢、品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者

四、前諸號以外ノ事由ニ依リ練習生タルニ不適當ト認ムル者

第十六條 前條第一號及第四號ニ該當スル練習生ヲ免シタル場合ニ於テ入校後十日以内



二五二

海軍

ナルトキハ校長ハ在籍鎮守府司令長官ニ補缺採用ノ手續ヲ請求スルコトヲ得

第十七條 削除

第十八條中「及第十六條」ヲ削ル

第二十條中「乃至第十七條」ヲ削ル

(條例別巻一、五四八ノ八頁参照)

0301

達第百六十九號

海軍機關學校規則中左ノ通改正ス

大正十年九月十二日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

第三十一條第三項中「所屬長官ヲ經テ所轄長ニ通知スルト共ニ」ヲ削リ

「所轄長ハ」ノ次ニ「部下ニシテ選修學生ヲ命セラレタル者アルトキハ」ヲ加フ

第四十一條及第四十三條中「進級停年ヲ超過シタル」ヲ「任用實役停年ヲ有スル」ニ改ム

第四十五條第四項中「不合格ノ者アルトキハ」選拔表ノ順序ニ從ヒ「不合格ノ者アルト

キハ」之ヲ在籍鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ「ニ改ム

第四十八條 練習生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ校長之ヲ免シ理由ヲ附シ各其ノ

在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團セシメ且之ヲ各其ノ前所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ノ長及在

籍鎮守府ノ人事部長ニ通知シ海軍教育本部長ニ報告スヘシ

一 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者

二百三 海軍

二 修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者

三 勤務怠慢、品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者

四 前諸號以外ノ事由ニ依リ練習生タルニ不適當ト認ムル者

第四十九條 削除

第五十二條第一項中「第四十九條又ハ第五十一條」ヲ「前條」ニ改メ同條第二項ニ左ノ但書

ヲ加フ

但シ艦船ノ本籍ニ異動アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條中「第四十九條」ヲ削ル

第五十七條第二項中「履歴表」ヲ「考課調査表」ニ改ム

(附則即卷一、四七一頁參照)

0302

逕第七十號

經營需品定額表及經營需品貸與品表中左ノ逕改正ス

大正十年九月十二日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

經營需品定額表中

航海長主管

| 區別 | 類別番號 | 品名 | 數稱 | 摘 | 要 |
|------|------|---------|----|---|---|
| 削除備品 | 二六 | 暴風警報信號燈 | 個 | | |
| 同 | 六一七 | 標信旗二巾 | 枚 | | |
| 同 | 六 | 同 | 枚 | | |
| 追加同 | 六一七 | 和音旗二巾 | 枚 | | |
| 同 | 六 | 同 | 枚 | | |
| 同 | 六 | 同 | 枚 | | |

他主管ヨリ供給ヲ受クル消耗品中砲術長主管「譜野洋紙」ヲ「樂譜五線紙」ニ改メ「竹」及主

計長主管「水入」ヲ削除ス

砲術長主管

| 區別 | 類別番號 | 品名 | 數稱 | 摘 | 要 |
|-----|------|--------|----|---------|---|
| 削除品 | 二一〇 | 譜野洋紙 | 個 | | |
| 同 | 二 | 同 | 個 | | |
| 同 | 二 | 同 | 個 | | |
| 追加同 | 二一〇 | 樂譜五線紙大 | 枚 | 軍樂隊用 | |
| 同 | 二 | 集合五線紙 | 枚 | 同 | |
| 同 | 二 | 樂譜表紙 | 枚 | 同 | |
| 同 | 四三 | フセリン | 個 | 管樂器接合部用 | |
| 同 | 一三 | 樂器磨 | 個 | 軍樂隊用 | |
| 同 | 一三 | 同 | 個 | 二分ノ一疋入 | |

他主管ヨリ供給ヲ受クル消耗品中計長主管「水入」ヲ削除ス

海軍

他主管へ供給スル消耗品中「諸野洋紙」ヲ「集合五線紙」ニ改メ

水雷長主管、通信長主管、運用長主管兼帆之部

運用長主管船匠之部、機關長主管

他主管ヨリ供給ヲ受クル消耗品中主計長主管「水入」ヲ削除ス

主計長主管

他主管へ供給スル消耗品中「水入」ヲ削除ス

經營需品貸與品表中

砲術長主管

甲類中品名「籠手」ヲ「甲手」ニ改メ乙類中「標的網」ヲ削除ス

二百五

海軍

0304

第三百七十一號

海兵團練習部規則中左ノ通改正ス

大正十年九月十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

第十二條第二項中「不合格ノ者アルトキハ選拔表ノ順序ニ從ヒ」ヲ「不合格ノ者アルトキハ之ヲ鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ」ニ改ム

第十七條第二項及第四項ヲ削ル

第二十一條 團長ハ練習生中左ノ各號ノ一ニ該營スル者アルトキハ之ヲ免シ理由ヲ附シ之ヲ各其ノ前所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ノ長及在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ通知シ鎮守府司令長官ニ報告スヘシ但シ他所轄ノ者ハ其ノ在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團セシムルモノトス

一 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者

二 修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者

二百六

海軍

三 勤務怠慢、品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者

四 前諸號以外ノ事由ニ依リ練習生タルニ不適當ト認ムル者

第二十二條 團長ハ前條第一號及第四號ニ該營スル練習生ヲ免シタル場合ニ於テ入團後十日以内ナルトキハ在籍鎮守府司令長官ニ補缺採用ノ手續ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條中「前二條」ヲ「第二十一條」ニ改ム

第二十五條第一項中「第二十二條又ハ」ヲ削リ同條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ艦艇ノ本籍ニ異動アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 削除

(海軍條例附卷一、四二八ノ三頁参照)

0305

達第百七十二號

運用術練習艦規則中左ノ通改正ス

大正十年九月十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

第五條第一項中「學生ノ學業考課表ヲ調製シ又」ヲ削リ同條第二項中「履歴表」ヲ「考課調査表」ニ改ム

- 第十五條 練習生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ練習艦ノ艦長之ヲ免シ理由ヲ附シ各其ノ在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團セシメ且之ヲ各其ノ前所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ノ長及在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ通知シ練習艦所屬鎮守府司令長官ニ報告スヘシ
- 一 傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者
 - 二 修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者
 - 三 勤務怠慢、品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者
 - 四 前諸號以外ノ事由ニ依リ練習生タルニ不適當ト認ムル者

二百七 海軍

第十六條 削除

第十七條中「第十六條」ヲ削ル

第十九條第一項中「第十六條」ヲ削リ同條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ艦艇ノ本籍ニ異動アツタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十條中「第十六條」ヲ削ル

(海軍條例即卷一、四一三頁参照)

0306

達第百七十三號

防備隊練習部規則中左ノ邊改正ス

大正十年九月十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

第六條第二項中「不合格ノ者アルトキハ選拔表ノ順序ニ從ヒ」ヲ「不合格ノ者アルトキハ之ヲ鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ」ニ改ム

第十條 司令ハ練習生中左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ之ヲ免シ理密ヲ附シ海兵團ニ送籍シ且之ヲ各其ノ前所屬ノ總船部隊其ノ他各部ノ長及海軍人事部長ニ通知シ鎮守府司令長官ニ報告スヘシ

- 一 傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者
- 二 修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者
- 三 勤務怠慢、品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者
- 四 前諸號以外ノ事由ニ依リ練習生タルニ不適當ト認ムル者

二百八

海 軍

第十一條 前條第一號及第四號ニ該當スル練習生ヲ免シタル場合ニ於テ入隊後十日以内

ナルトキハ司令ハ鎮守府司令長官ニ補缺採用ノ手續ヲ請求スルコトヲ得

第十二條中「前二條」ヲ「第十條」ニ改ム

第十四條第一項中「第十一條又ハ第十三條」ヲ「前條」ニ改メ同條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ艦艇ノ本籍ニ異動アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 削除

(海軍諸例則卷一、四三六頁参照)

0307

第三百七十四號

海軍航空隊練習部規則中左ノ通改正ス

大正十年九月十三日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

第六條第三項中「不合格ノ者アルトキハ選拔表ノ順序ニ從ヒ」ヲ「不合格ノ者アルトキハ之ヲ在籍鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ」ニ改ム

第八條 司令ハ練習生中左ノ各號ノ一ニ該營ニル者アルトキハ之ヲ免シ理由ヲ附シ各其ノ在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團セシメ且之ヲ各其ノ前所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ノ長及在籍鎮守府ノ人事部長ニ通知シ當該海軍航空隊所管鎮守府司令長官ニ報告スヘシ

- 一 傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者
- 二 修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者
- 三 勤務怠慢、品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者
- 四 前諸號ニ掲クル以外ノ事由ニ依リ練習生タルニ不適當ト認ムル者

第九條 創除

第十條中「前二條」ヲ「前條」ニ改ム

第十二條中「履歴表」ヲ「考課調査表」ニ改ム

(海軍諸例即卷二、八九六頁參照)

達第百七十五號

明治三十六年達第六十五號海軍造船材料試驗規格但書ヲ左ノ通改ム

大正十年九月十四日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

但シ遞信省ノ定メタル造船規程若クハ遞信大臣ノ認定シタル船級協會規定ノ造船規程ニ依リ設計セラレタル特務艦艇及一般雜役船舟製造用材料ハ同規程ノ規格ニ依ル事ヲ得

(附別冊卷二、六四八頁参照)

二百十

海軍

0309

達第一百七十六號

海軍病院練習部規則中左ノ通改正ス

大正十年九月十四日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

第十四條 海軍病院長ハ練習生中左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ之ヲ免シ理由ヲ附シ各其ノ在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團セシメ且之ヲ各其ノ前所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ノ長及在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ通知シ鎮守府司令長官ニ報告スヘシ

一 傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者

二 修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者

三 勤務怠慢、品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者

四 前諸號以外ノ事由ニ依リ練習生タルニ不適當ト認ムル者

第十四條ノ二 海軍病院長ハ前條第一號及第四號ニ該當スル練習生ヲ免シタル場合ニ於テ入應後十日以内ナルトキハ在籍鎮守府司令長官ニ補缺採用ノ手續ヲ請求スルコトヲ

得

第十八條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ艦船ノ本籍ニ異動アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

(本年達第一百七十六號参照)

0310

廢止

陸軍省
海軍省
逓信省
文部省
農商省
逓送省
勸業省
逓送省
逓送省

達第百七十七號

水路圖誌經理規程左ノ通改正ス

（海）大正三年達第百九十九號

大正十年九月十五日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

水路圖誌經理規程

- 第一條 本規程ニ於テ水路圖誌ト稱スルハ水路圖誌定數表又ハ水路圖誌貸與品表ニ攝ケタル圖誌及其ノ製造材料品ヲ謂フ
- 第二條 水路圖誌ハ分チテ備品、消耗品、製造材料品及貸與品トス消耗品ハ第一種消耗品ノ取扱トス
- 第三條 備品及消耗品ハ水路圖誌定數表ニ依リ貸與品ハ水路圖誌貸與品表ニ依リ之ヲ供給ス
- 第四條 水路圖誌定數表及水路圖誌貸與品表ハ海軍大臣ノ承認ヲ經テ水路部長之ヲ定ム
- 第五條 海圖刊行區域ハ別表ノ如ク之ヲ第一區、第二區及第三區ニ區分シ第一區ヲ更ニ

二百十二
海軍

第一部及第二部ニ小分ス

- 第六條 第一區ニ關係アル水路圖誌ハ水路部刊行ノモノヲ用キ第二區又ハ第三區ニ關係アル水路圖誌ハ水路部刊行ノモノ又ハ外國圖誌ヲ用キルモノトス
- 第七條 水路部ハ第二區ニ屬スル水路圖誌各十二部以上第三區ニ屬スル水路圖誌各六部以上ヲ常ニ貯藏スヘシ
- 第八條 艦船部隊其ノ他各部ニ要スル水路圖誌ハ特ニ指定アルモノヲ除クノ外所管所屬又ハ在籍鎮守府兵備品會計官吏、鎮守府所屬以外ノ各廳等ニ要スルモノハ最寄鎮守府兵備品會計官吏、練習艦隊司令部用ノモノハ横須賀鎮守府兵備品會計官吏其ノ他ノ艦隊戰隊水雷戰隊潜水戰隊等司令部用ノモノハ佐世保鎮守府兵備品會計官吏、在東京各廳及前記以外ノ各部ニ要スルモノハ水路部兵備品會計官吏之ヲ供給ス
- 前項ノ場合ニ在リテ鎮守府兵備品會計官吏ノ供給スヘキ水路圖誌中當該會計官吏ニ於テ準備品ナキモノニ付テハ水路部兵備品會計官吏直接之ヲ供給ス
- 第九條 定數表ニ依リ水路圖誌ノ供給ヲ受クルコト能ハサル廳ニ於テ臨時水路圖誌ノ必

0311

要ヲ生シタルトキ又ハ艦船部隊其ノ他各部ニ於テ定數以外ニ臨時水路圖誌ノ必要ヲ生シタルトキハ兵備品會計官吏ハ一時之ヲ貸與スルコトヲ得

第十條 兵備品取扱主任水路圖誌ヲ借用セムトスル場合ハ借用票(兵備品會計規程證憑書式第六號用紙)ニ理由及期限ヲ記入シ兵備品會計官吏ニ之ヲ送附スヘシ

特種ノ事由アルモノヲ除クノ外借用期限ハ六個月以内トス

第十一條 兵備品會計官吏ハ必要ニ應ジ他鎮守府在籍ノ艦船及艦隊戰隊水雷戰隊潜水戰隊司令部等ニ水路圖誌ヲ供給スルコトヲ得

艦船及艦隊戰隊水雷戰隊潜水戰隊司令部等ニ於テ水路圖誌ヲ還納セムトスル場合ニハ最寄鎮守府兵備品會計官吏ニ之ヲ還納スルコトヲ得

第十二條 兵備品會計官吏ハ在庫ノ毀損品ニシテ尙使用ノ見込アルモノハ之ニ修理ヲ施シ其ノ使用ニ堪ヘサルモノハ不用品トシテ之ヲ處分スヘシ但シ廢版トナリタルモノニ限リ兵備品取扱主任ニ於テ適宜之ヲ處分スルコトヲ得

第十三條 兵備品會計官吏又ハ兵備品取扱主任天災其ノ他ノ事故ニ依リ其ノ保管ニ係ル



水路圖誌ニ亡失毀損等ヲ生シタルトキハ事由書(別紙書式)ヲ調製シテ兵備品出納命令官ニ之ヲ提出シ其ノ指揮ヲ受クヘシ

但シ兵備品取扱主任ニ在リテハ所轄長ノ證明ヲ得兵備品會計官吏ヲ經テ出納命令官ニ之ヲ提出スルモノトス

第十四條 艦船外國ニ於テ水路圖誌ヲ受入レ供給セラレタタルトキハ本邦ニ歸著ノ後兵備品取扱主任ハ其ノ品名員數等ノ明細書ヲ作り在籍鎮守府兵備品會計官吏ニ之ヲ報告スヘシ

但シ直接購買シタルモノハ兵備品會計規程第二十二條ニ依リ之ヲ處理スヘキモノトス兵備品會計官吏ハ前項ノ報告ニ基キ受入レ其ノ他ノ手續ヲ爲スヘシ

第十五條 水路部及鎮守府ノ兵備品會計官吏ハ各水路圖誌補給用トシテ定數表供給額ノ十分ノ一ヲ準備スヘシ

第十六條 水路部長ハ水路圖誌ノ準備ニ遺憾ナキヲ期セムカ爲鎮守府兵備品會計官吏ヲシテ必要ナル報告ヲ提出セシメ又ハ各鎮守府兵備品會計官吏間ニ水路圖誌ノ保管轉渡

フ爲ナシムコトヲ得

(會計法視察卷下 六四七頁參照)

(別表二兼添)

二百十四

海軍

0313

(別表)

海圖刊行區域表

第一區 第一區ニ屬スル區域ハ左ノ範圍トス

自東經九十五度 至東經百七十度 及

自 赤道 至北緯六十五度

自東經百七十度 至東經百七十五度

自北緯 四度 至北緯 二十度

第一部 自東經百十三度 至東經百六十度
自北緯二十一度三〇分 至北緯五十五度

第二區 第二區ニ屬スル區域ハ左ノ範圍トス
第二部 第一區中ヨリ第一部ニ屬スル區域ヲ除キタル残りノ海面トス

自東經三十度 至西經七十度(東經百八十度經由)

自南緯六十度 至北緯七十度

但シ第一區及亞米利加東岸並地中海以北ヲ除ク

第三區 第三區ハ第一區第二區ヲ除キタル残りノ全海面トス

備考 第一區第二區ニ跨ル所ノ海圖並第一區第二區第三區ニ跨ル所ノ海圖ハ總テ之ヲ第一

區海圖トシ第二區第三區ニ跨ル所ノ海圖ハ之ヲ第二區海圖トス又第一區内ニ於テ第一

部第二區ニ跨ル所ノ海圖ハ之ヲ第一部海圖トス

(書式)(用紙美濃野紙)

(何)第(何)號(兵備品會計官吏/兵備品取扱主任)ノ番號

大正 年 月 日

某營(船部隊)兵備品取扱主任(兵備品會計官吏)職氏名印

兵備品出納命令官氏名殿

水路圖誌亡失(毀損)事由書

| 品名 | 數 | 稱 | 數 | 量 | 單 | 價 | 代 | 價 | 摘 | 要 |
|----|-------|---|---|---|---|---|---|---|----|--------|
| 何 | | | | | | | | | 年月 | 日供給ノモノ |
| 計 | (何) 廉 | | | | | | | | | |

事由(亡失毀損ノ理由及其ノ年月日致搜索ノ狀況等詳細ニ記載スルヲ要ス)

右亡失毀損(何々ト認ム)兵備品會計官吏ヨリ提出ノモノハ本行以下ヲ要セス)

大正 年 月 日

某營(團部)長 氏 名 印

0315

達第七十八號

大正九年達第二百二十五號中「及潜水艦」ヲ、「潜水艦及水雷艇」ニ、「又ハ潜水艦長」ヲ、「潜水艦長又ハ艇長」ニ改ム

大正十年九月十六日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

參照 大正九年達第二百二十五號ハ、驅逐艦及潜水艦ニ於ケル准士官至改稱等ノ件ナリ

二百十五

海軍

0316

達第百七十九號

海軍無線電報取扱規約中左ノ邊改正ス

大正十年九月十七日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

附表第一遞信省船舶局略符號ノ欄大阪商船ノ部中「KT 笠戸丸」「ST 志の丸」ヲ削リ同欄中「鐵道院」ヲ「鐵道省」ニ改ム

(諸例則卷二、五四二、一〇頁參照)

達第百八十號

昭和十一年達第百七十五號
ニテ本條廢止

海軍艦船ト朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳及樺太廳所屬無線電信所間ノ無線電報通信取扱ハ大正二年達第百二十六號海軍無線電報取扱規約ヲ準用ス但シ朝鮮總督府所屬無線電信所ヲ介シ海軍ヨリ發送スル電報ハ其ノ無線電信ニ係ル部分ノ料金ヲ無料トス
朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳及樺太廳所屬無線電信所所名並略符號列表ノ如シ
明治四十三年達第百三十二號ハ之ヲ廢止ス

二百十六

海軍

大正十年九月十七日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

(諸例則卷二、五六五頁參照)

(別表一添添)



海軍諸例
別表

(別表)

| | | | | | |
|-------------------|----------------------|-------------|--------------|--------------|---------------------|
| 朝鮮總督府無線電信 所略符號 | 海岸局 J S B 小月尾島 | J M P 木浦 | J S S 小青島 | J K M 港門島 | 船舶局 J K S 光濟丸 |
| 臺灣總督府無線電信 所略符號 | 海岸局 J F K 基隆 | | | | |
| 關東廳無線電信所略 符號 | 海岸局 J D A 大連灣 | 船舶局 日本郵船 | J K B 神戸丸 | J K I 神丸 | |
| 樺太廳無線電信所略 符號 | 海岸局 J T W 大泊 | | | | |

0318

達第百八十一號

大正八年達第百五十三號續關附屬物標準別冊(乙)中雜ノ部稅治用油噴燃器ノ行備考ノ
欄「千所」トアルヲ「九百所」ニ改ム

大正十年九月二十六日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

(發例即卷二、六四二頁參照)

正 誤



本年達第百七十號經營費品定額表改正中二百四頁十二行及二百五頁一行中「集合五線
紙」ニ樂譜五線紙大、小ノ誤

大正十年九月二十六日

海 軍 省 副 官

二百十七

海 軍

0319

達第百八十二號

海軍無線電報取扱規約中左ノ通改正ス

大正十年九月二十七日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

附表第一海軍艦(船)名及海軍無線電信所名略符號ノ欄載艦ノ部中「J G A 敷島、J G B 朝日、J G C 三笠、J G D 肥前」、一等巡洋艦ノ部及二等巡洋艦ノ部中「J L B 千歲、J L L 須磨、J L M 明石、J L N 新高、J L O 對馬」ヲ削リ
同欄一等海防艦ノ部中周防ノ次ニ左ノ如ク加フ

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| J | J | J | J | J | J |
| R | R | G | G | G | G |
| B | A | D | C | B | A |
| 常 | 淺 | 肥 | 三 | 朝 | 敷 |
| 磐 | 間 | 前 | 笠 | 日 | 島 |

二百十八

海軍

同欄二等海防艦ノ部中武藏ノ次ニ左ノ如ク加フ

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| J | J | J | J | J | J | J | J | J | J |
| L | L | L | L | L | R | R | R | R | R |
| O | N | M | L | B | K | J | G | F | D |
| 對 | 新 | 明 | 須 | 千 | 日 | 春 | 出 | 磐 | 吾 |
| 馬 | 高 | 石 | 磨 | 歲 | 進 | 日 | 雲 | 手 | 妻 |

(略例則卷三、五四三、一〇頁參照)

達第百八十三號

海軍特務士官准士官配屬命課規則中左ノ通改正ス

大正十年九月二十九日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

第五條ニ左ノ一項ヲ加フ

聯合艦隊司令部附ノ特務士官准士官ノ積須賀鎮守府ヨリ之ヲ補充スヘシ

(條例別卷一、九四二頁参照)

達第百八十四號

海軍下士官兵定員補充交代規則中左ノ通改正ス

大正十年九月二十九日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

「實地研究」ヲ「實地練習」ニ、「軍樂兵補習生」ヲ「軍樂術補習生」ニ、「船匠兵補習生」ヲ

二百十九

海軍

「船匠術補習生」ニ改ム

第三條中但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ聯合艦隊司令部附ノ横須賀鎮守府、第一遣外艦隊司令部附ノ佐世保鎮守府、第二遣外艦隊司令部附ノ吳鎮守府、練習艦隊司令部附ノ舞鶴鎮守府ヨリ各之ヲ補充スヘシ

(條例別卷一、九四四頁参照)

0321

達第百八十五號

港用品備品定額表別冊ノ通改正ス但シ別冊ハ要スル向ヘノミ配付ス

大正十年九月三十日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

二百二十

海軍

0322